

高校生を対象とした気仙地方林業職場体験会(その2)について

1 はじめに

大船渡農林振興センターでは、気仙地方の林業・木材業の事業者等で構成する気仙地域林業振興協議会と連携し、林業・木材産業の担い手確保を目的に今年2回目の高校生を対象とした「林業職場体験会」を開催したので、その概要を紹介します。

2 林業職場体験会の概要

「陸前高田市森林組合」と「けせんプレカット事業協同組合」の協力を得て、令和5年10月27日(金)、陸前高田市気仙町地内の伐採現場と同市竹駒町のプレカット工場を会場に林業体験会を開催しました。参加者は、住田高等学校普通科2年生の14名です。

(1) 林業用機械操作体験

森林組合職員によるスギ伐採のデモンストラーション後、少人数に分かれ、その丸太を使ってプロセッサ、グラブの操作体験、クローラの走行体験を行いました。



林業機械操作体験

(2) 森林計測体験

林業普及指導員の指導により、指導員が事前に設定した立木をGNSSで探し、その

立木の樹高をバーテックスで測定する体験を行いました。

(3) ドローン操作体験

林業普及指導員からの説明を受け、ドローンを操作し、上空80mから撮影した森林の映像をタブレットで確認するなどの体験を行いました。

(4) CAD体験及びプレカット工場見学

けせんプレカット事業協同組合の協力のもと、工場の見学と簡易構造物のCAD入力の体験後、入力図面どおりの部材を工場で用意していただき、組み立て体験を行いました。



組み立てた構造物と記念撮影

3 参加者の感想等

生徒からは「とても楽しそうな仕事だと思った」、「パソコンで図面を作り、ネジなどを使わずに組立てられたことに驚いた」など、普段できない体験から新たな発見があったという意見が多くありました。

4 今後に向けて

当センターでは、気仙地方林業振興協議会や地域の事業体等と連携を図りながら、林業・木材産業の人材確保につながる取組を継続していきたいと考えています。